

東松山市の寺院調査及び紹介



東松山市 きらめき市民大学

第14期 国際・文化学部 課題研究 A班



メンバー：

松島信一	○片岡修	江口直巳	馬橋奨	新井征一	木村篤治	萩野谷文雄	◎飯島丈男
------	------	------	-----	------	------	-------	-------

福浦のり子	足立清子	坂村恵子	黒羽秀蘭	柳下千賀子	小島清子	五島啓子	宮崎よし江
-------	------	------	------	-------	------	------	-------

目 次

1. はじめに
 - (1) テーマの選定理由
 - (2) 活動方針
 - (3) 活動経過
2. 東松山市の寺院分析
 - (1) 東松山市の寺院について
 - (2) 東松山市の寺院一覧表
 - (3) 東松山市の寺院マップ
3. 各地区の寺院紹介
 - (1) 松山・大岡地区 A コース
 - (2) 松山・大岡地区 B コース
 - (3) 野本地区
 - (4) 高坂地区
 - (5) 唐子地区
4. 国際・文化学部としてのグローバル展開
 - (1) 寺院紹介の冊子の作成（日本語版・英語版）
 - (2) 寺院紹介の冊子のプレゼンテーション（日本語版・英語版）
5. まとめ
 - (1) 総括コメント
 - (2) 各メンバーの一言コメント
 - (3) 参考にした資料文献とお世話になった方々へのお礼

1. はじめに

(1) テーマの選定理由

- ① 過去のきらめき市民大学の発表資料や図書館等にある一般の資料文献等を調査したところ、まとまった形での寺院紹介は見当たりませんでした。
- ② 東松山市の寺院周辺の見所や食べ処を掘り起こし寺院紹介と一緒に提案することにより寺院巡りをする人が増えることを期待しました。
- ③ 寺院紹介をわかりやすく纏めることにより、多くの人々に寺院巡りをしてもらい地域活性化につなげることを目標としました。

(2) 活動方針

- ① 基本的には寺院を訪問し各寺院の住職様とのヒヤリングに重点を置く。
- ② 各寺院の紹介資料は規定の書式を作り、各文献や資料を調査しそれを作成する。
- ③ 寺院調査は主に東松山市を松山地区、大岡地区、野本地区、高坂地区、唐子地区の 5 地区に分け、人員を 3 班に別け夫々の地区を分担する。
- ④ 課題研究 A 班は一致団結し一貫し、楽しみながらをモットーに活動する。

(3) 活動経過

我々の活動回数は報告書提出まで約1年間で31回を数えました。当初計画した東松山の伝統と食文化の両輪のテーマから、その内容の深さや大変さを鑑み寺院調査・紹介に的を絞りました。

No	月日	活 動 内 容	備 考
1	1/21	役員決め。テーマ及びグループ担当メンバーの決定。	
2	2/25	今後の活動計画と課題討議（東松山の食文化と伝統文化）	
3	3/10	取り組みテーマ及び活動日について話し合い。	
4	3/17	テーマ絞り込み。伝統(東松山の寺院)・食文化(郷土料理)	
5	3/24	寺院に関する資料探し。東松山のやきとりのルーツを調査	図書館・大松屋
6	4/7	東松山市の寺院の書籍調査。食文化：7/21 調理実習の検討。	
7	4/13	寺院めぐりについて内容を検討。⇒寺院調査用紙作成。	市立図書館
8	4/25	東松山郷土史家、千代田氏の講演。寺院のコース・担当決め。	
9	5/26	調査内容を確認後、第1回寺院調査実施（3地区）	各寺院
10	5/28	事前打ち合わせ後、第2回寺院調査実施（2地区）	各寺院
11	6/16	寺院調査のまとめ作業⇒継続活動。食文化活動計画内容討議	
12	7/7	冊子の内容検討(英語・韓国版)。7/21の調理実習の打合わせ。	
13	7/21	食文化・調理実習（冷や汁・手打ちうどん他 全8品試食）	高坂丘陵活セ
14	7/28	テーマの選定と寺院マップ作成等について打ち合わせ。	
15	8/4	寺院調査表の内容をプロジェクターを使ってチェック。	
16	8/18	寺院調査表の内容をチェック。冊子作成に関する打ち合わせ。	
17	8/25	33寺院調査表の内容チェック完了⇒プリントアウト。	
18	9/2	各グループ毎に寺院調査表を持参し、各寺院にて確認作業。	各寺院
19	9/16	各グループ毎に寺院調査表を持参し、各寺院にて確認作業。	各寺院
20	9/26	各グループ毎に寺院調査表を持参し、各寺院にて確認作業。	各寺院
21	9/29	各寺院への確認作業が一応終了。修正後印刷し冊子状態に。	
22	10/11	全員で添削のため印刷配布。報告用の内容を審議。	
23	10/20	報告用原稿の詳細について討議、確認。	
24	10/25	前回に引き続き報告用原稿の詳細についてさらに検討。	
25	11/1	報告用原稿の校正を行う。	
26	11/14	報告用原稿の校正を行う。	
27	11/18	冊子日本語版・英語版のまとめ	
28	11/24	報告用資料まとめ	
30	11/29	冊子の展開（市役所スポーツ課）	
31	11/30	冊子の展開（東松山市観光協会）	

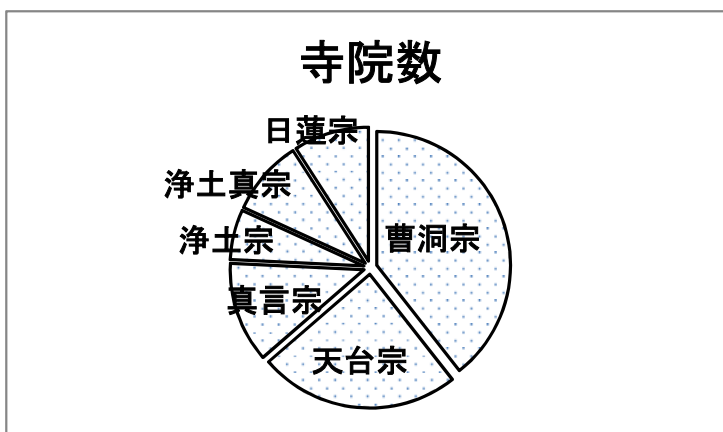
12/1：報告書提出

2. 東松山市の寺院分析

(1) 東松山市の寺院について

我々が調査した 33 寺院は大きく 6 宗派に分かれており以下のように曹洞宗が多くその次が天台宗と続いている。尚臨濟宗が 1 寺院も無いのが特徴である。

	寺院数
曹洞宗	13
天台宗	8
真言宗	4
浄土宗	2
浄土真宗	3
日蓮宗	3
臨濟宗	0
合計	33



各宗派の特徴について以下記述する。

宗派	宗祖	本山	特徴	年代	備考
曹洞宗	道元 禅師 瑩山 禅師	永平寺(福 井県吉田 郡) 總持寺(横 浜市鶴見 区)	只管打座：余念を 交えず、ただひた すら座禅すること 黙照禅：もっぱら 座禅により無念無 想となる。	1227年：道元によっ て日本にもたらされ る。 1243年：永平寺を建 立	道元禅師が正 伝の仏法を中 国から日本に 伝え瑩山禅師 が全国に広め られ曹洞宗の 礎を築く
天台宗	最澄	比叡山延 暦寺 (滋賀県 大津市)	悉有仏性(しつう ぶっせい)：すべ ての人は仏になれ る可能性がある。 忘己利他：自分が 悟ることを忘れて 人々のために尽く すこと この2点が教えの 基本	804年～805年：伝教 大師最澄は唐の天台 山で天台教学を受け た。 806年：天台法華宗と して認められる。(日 本における天台宗の はじまり)	最澄は「法華 経」の教えに禅 と密教、戒律を 融合させて日 本独自の天台 宗を作り上げ た。
真言宗	空海	高野山金 剛峯寺 (和歌山 県高野町)	大日如来を本尊と する。真言(マン トラ)と呼ばれる 呪文を唱えること が特徴	816年：空海は高野山 金剛峯寺を修禅の道 場として開創 823年：嵯峨天皇より 勅賜された東寺を教 王護国寺と名付け密	空海は弘法大 師とも呼ばれ るがこれは921 年醍醐天皇よ り与えられた 諡号(しごう)

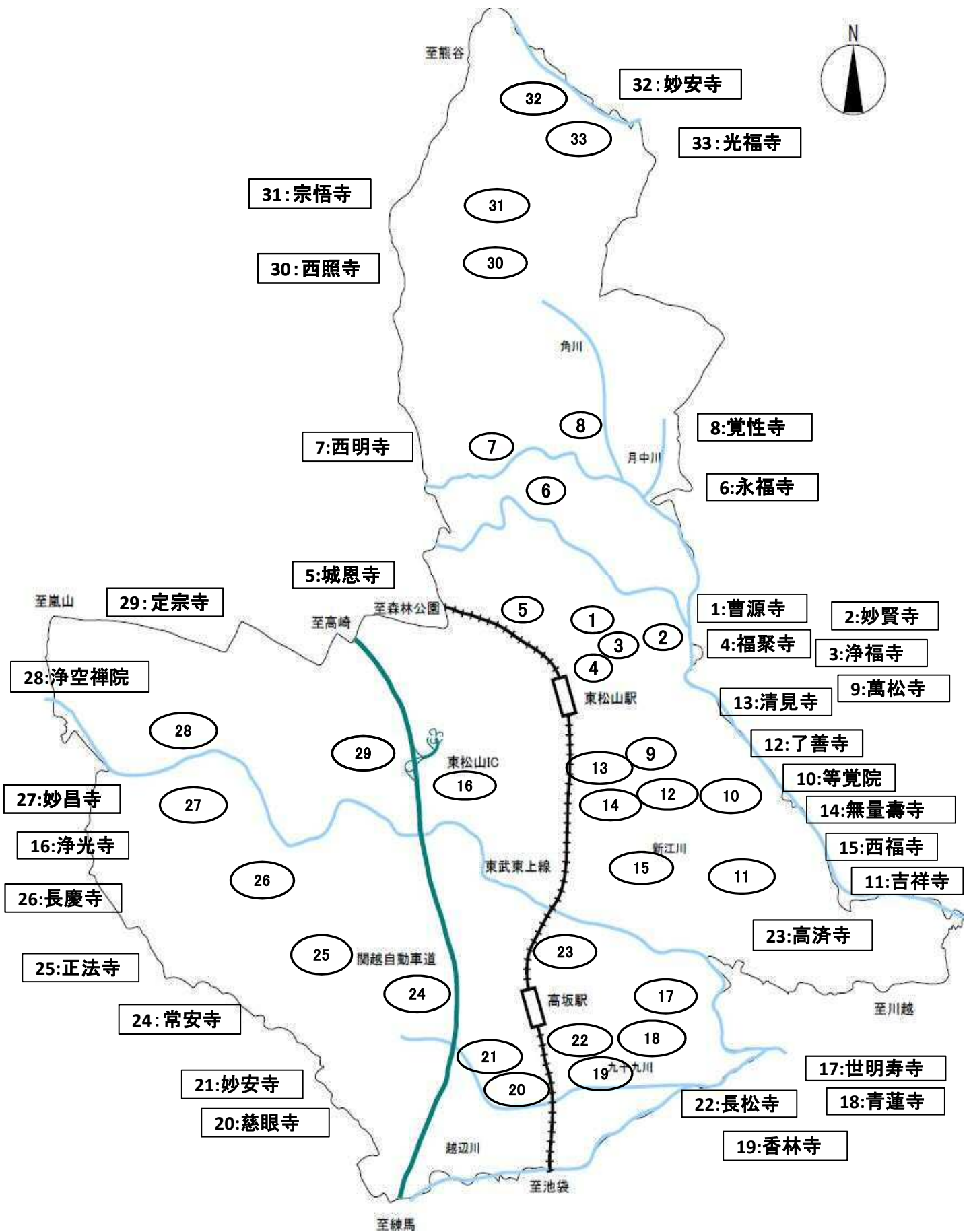
				教の修行道場とした。	である。
浄土宗	法然	知恩院 (京都市 東山区林 下町)	「南無阿弥陀仏」と云う念仏を唱えることで阿弥陀如来のいる極楽浄土へ往生できるというもの	1175年：法然は中国浄土宗善導『観無量寿経疏』により念仏の道に進み、京都で浄土宗を開く	「南無阿弥陀仏」は、阿弥陀仏に帰依（南無）しますの意。
浄土真宗	親鸞	真宗本願寺派：西本願寺(京都市下京区) 真宗大谷派：東本願寺(同上)	法然の弟子親鸞により布教。基本は浄土宗であるが、念仏に対し特に信心を重要視しそれによって往生できるとする。	1201年：親鸞は法然に弟子入り 1224年：「教行信証」で教義を著し浄土真宗を開く。	1602年徳川家康の援助により東本願寺が建立され現在有る西本願寺と分かれた。
日蓮宗	日蓮	身延山久遠寺 (山梨県南巨摩郡身延町)	末法（ブツダの教えが滅びる）にある現世を「法華経」の教えによって浄土とし、人々を救おうとする。	1253年：清澄寺(せいちょうじ)（千葉県）に於いて「南無妙法蓮華経」と唱え、日蓮宗が開かれた	末法とは平安時代末期に広まったいわゆるブツダの教えが滅びそれが1052年に始まり10,000年間続くという思想。
臨済宗	栄西	15分派有りそれぞれに本山が有る	中国臨済宗の流れをくむ黄龍派、看話禅；座禅と禅問答を組み合わせたのが特徴	1168, 1187年：栄西は2度に渡り宋で禅宗を学ぶ 1200年：寿福寺（鎌倉）建立 1202年：建仁寺（京都）建立	栄西は開祖とされているがその後宋より来日した蘭溪道隆や無学祖元らにより臨済宗は広まった。

(2) 東松山市寺院一覧表

東松山市の 33 寺院の宗派・住所は以下の如くです。

番号	寺院名	宗 派	住 所	電話番号	地区
1	曹源寺	曹洞宗	本町 1-5-3	22-0099	松山
2	妙賢寺	日蓮宗	松本町 1-11-56	22-0739	松山
3	浄福寺	真宗大谷派	松本町 1-10-9	22-2237	松山
4	福聚寺	天台宗	本町 2-10-10	22-1528	松山
5	城恩寺	浄土宗	松山町 3-6-11	22-1315	松山
6	永福寺	曹洞宗	市ノ川 212	22-1412	松山
7	西明寺	曹洞宗	野田 359	22-2904	松山
8	覚性寺	真言宗智山派	東平 438	22-2588	松山
9	萬松寺	曹洞宗	柏崎 341	22-1369	野本
10	等覚院	天台宗	古凍 536-1	22-2615	野本
11	吉祥寺	天台宗	古凍 1139	——	野本
12	了善寺	真宗大谷派	下野本 1076	22-1739	野本
13	清見寺	曹洞宗	上野本 1683	22-1642	野本
14	無量寿寺	曹洞宗	下野本 662	22-2628	野本
15	西福寺	天台宗	下押垂 227	——	野本
16	浄光寺	天台宗	下青鳥 126	22-0892	野本
17	世明寿寺	曹洞宗	正代 755-1	34-3706	高坂
18	青蓮寺	天台宗	正代 864-1	35-0375	高坂
19	香林寺	曹洞宗	宮鼻 144	34-4488	高坂
20	慈眼寺	真言宗智山派	田木 505	34-3747	高坂
21	妙安寺	日蓮宗	田木 918	34-4963	高坂
22	長松寺	浄土宗	高坂 1184	34-4269	高坂
23	高濟寺	曹洞宗	高坂 834	34-4340	高坂
24	常安寺	天台宗	西本宿 530	34-3636	高坂
25	正法寺	真言宗智山派	岩殿 1229	34-4156	高坂
26	長慶寺	真言宗智山派	神戸 1678	34-5223	唐子
27	妙昌寺	日蓮宗	神戸 1121	34-3042	唐子
28	浄空禅院	曹洞宗	上唐子 679	23-9815	唐子
29	定宗寺	天台宗	石橋 518	23-6095	唐子
30	西照寺	真宗本願寺派	大谷 2560-4	39-1445	大岡
31	宗悟寺	曹洞宗	大谷 400	39-0167	大岡
32	妙安寺	曹洞宗	岡 1729	39-0052	大岡
33	光福寺	曹洞宗	岡 498	39-1882	大岡

(3)東松山市寺院マップ



3. 各地区の寺院紹介

(1) 松山・大岡地区 A コース :

松山地区 : 寺院NO①～④、⑧

大岡地区 : 寺院NO⑳～㉓

松山地区と大岡地区を結ぶ東側に位置する寺院探訪

民間バスを使用するコース (東武バス: 東松山駅～熊谷駅)

最初からバスを使用せず少しウォーキングを楽しみながら探訪するのも良いかと思えます。東松山駅を東口に降り約300m位まっすぐ進むと駅入り口の十字路があります。そこを左折すると右側に東松山図書館左側に下沼(女沼)があります。その西側には福聚寺があります。入口にはイボとり地藏尊があり毎年8月24日は縁日です。沼に突き出た建物には弁財天が祀ってあります。そこを通過して約400m北へ進むと十字路があります。そこを右折し約400m進むと右側に浄福寺、少し進んで左側には妙賢寺があります。この2つの寺は松山城に関わる古刹であり松山城主からの庇護を受けていたと言われていています。この2寺を参詣後元の十字路に戻り右折、約400m進むと右側に曹源寺があります。この寺院には市の文化財に指定されている釈迦涅槃図が所蔵されています。これは東松山市出身江戸時代の絵師江野樗雪の作品で一見の価値のある作品です。左側には上沼(男沼)があり下沼(女沼)と「夢灯ろう」の発着点となり春先の桜の見どころです。

上沼前の停留所よりバスを利用し熊谷方面に乗ると15分位で東平停留所に着きます。そこを5分くらい戻ると右側に覚性寺の墓地があり入口に小林一茶が箭弓神社へ寄っての道すがら雨に会い雨宿りをしたと言われる薬師堂があります(草津道の記)。再びバスで10分ほど行き東松山病院前で降り対面の田圃道を東の方



へ歩くと光福寺があります。ここには国指定の文化財「宝篋印塔」があり裏山には古墳があります。そこからまたバスに乗り上岡停留所で下車すると妙安寺が管理する馬頭観音堂があります。毎年2月19日はこの地区の大きな祭りです。

近年は交通安全を祈願したり競馬の当たり祈願等近代にあった形にしてお客さんを集めています。絵馬市もあり著名な画家の絵馬や農機具などのお店が出ます。

次ページには小林一茶が雨宿りした薬師堂を有する覚性寺を紹介します。



⑧：寺院名：覚性寺 (かくしょうじ)

宗派：真言宗智山派

吉見、今泉金剛院の末寺。薬師堂が有り、天慶3年藤原秀郷の創立、天平年間兵乱で焼失。1603年2月再建也と縁起書にあり。

所在地	東平438
山号	妙雲山瑠璃光院
本尊	薬師如来、阿弥陀如来
創建年	941年（天慶3年）
開基	
別称	
札所等	中武蔵薬師札所68番
文化財	

山門



本堂



主な施設

駐車場	有り
休憩所	無し
トイレ	無し
自販機	無し

見所：薬師堂



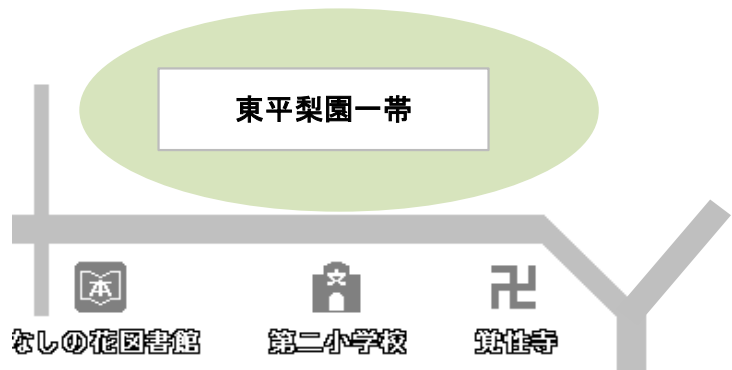
小林一茶が雨宿りした薬師堂
「草津道の記」（文化5年）にやきゅう（箭弓）神社から本町をとおり東平の念仏堂（薬師堂？）の前で雨宿りをしたとあります。

付近の見所食べどころ

東平地区には、10軒以上の梨狩り園が点在。
豊水、新高等が食べられる。



9月初旬から10月中旬



(2) 松山・大岡地区 B コース :

松山地区 寺院NO. ⑤～⑦

大岡地区 : 寺院NO. ③⑩～③⑪

松山と大岡地区を結ぶ西側に位置する寺院を紹介します。

市内循環バスを使用するコース(循環バス大谷ボタン園先周りコース)

ウォーキングをかねてのコースを紹介します。
東松山駅から市役所までバスを使用(約6分)
し、市役所の裏道の通りを約700m西方に行くと右側に城恩寺があります。

もともとは市内にあった古刹ですが昭和50年に現在位置に移動しました。(墓地は昔よりここにありました。)

この寺院は比企西国札所の1番札所です。戻ってマミーマートのところを左折し市の川橋を渡ると右側に永福寺があります。民話の「河童の詫び証文」があったと伝えられています。尚、ここには小田原北条氏より賜った制札があり市文化財に指定されています。

停留所の特別支援学校前より約2分で西明寺に着きます。山門を入れてすぐ左側には「秋葉宮」と書かれたお堂があります。この扁額は加賀大乘寺43代貫主愚禅による書であります。

今までこの寺院は市内曹源寺の住職が兼ねていましたが2016年11月12日新住職就任の儀式が催されました。バスを利用し吉庚集会所で下車し大門を奥に進むと1991年創建の西照寺に着きます。

再びバスに乗り秋葉神社下で下車します。この秋葉神社の屋敷が宗悟寺を建てた森川氏の屋敷跡です。宗悟寺は秋葉神社から北方の高台に見えます。宗悟寺は鎌倉時代源頼家の妻であった若狭の局が頼家の供養の為に建てた寿昌寺を天正年間に森川氏が移し宗悟寺を中興としました。

ここには源頼家の位牌があり前もって連絡しておけば見せて頂けます。周囲には比企尼山(びくにやま)少し奥に入ると頼家の奥方、若狭の局の櫛引き伝説の舞台であった櫛引き沼等があり比企一族研究には欠かすことのできない寺院です。この宗悟寺については更に詳細の紹介を次ページに掲載します。



③1: 寺院名: 宗悟寺(そうごじ)

宗派: 曹洞宗

徳川家臣森川金右衛門氏俊の開基によって比丘尼山に建立。慶長年間後半に現在地に移転。森川家は最初今川家の家臣飯野豊前守致実の仇討に敗れた。その事を知った徳川家康がその儀に関心し親族の氏俊を永禄8年に召し抱え家康の命にて森川を称した。

所在地 東松山市大谷400

山号 扇谷山(寿昌寺)

本尊 釈迦牟尼仏

創建年 1204年(元久元年)

開基 森川金右衛門氏俊

別称

札所等

文化財 市指定歴史文化財の
森川氏累代の墓

主な施設

駐車場 有り

休憩所 有り

トイレ 有り

自販機 無し

山門



本堂



見所

- ・白山妙理大権現の祠
- ・源 頼家の位牌
- ・比企一族の顕彰碑

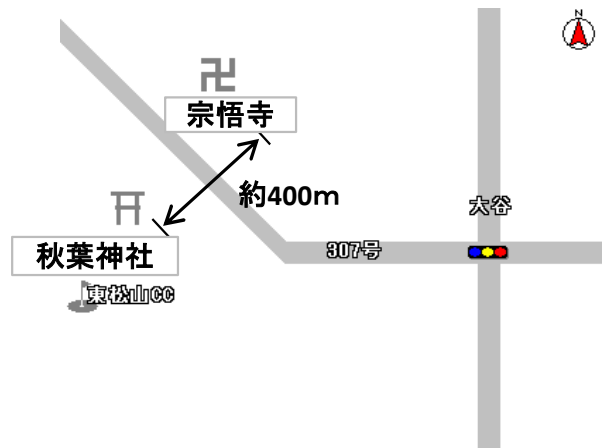


付近に比企一族由来の比丘尼山、串引き沼等近くに鎌倉街道等ある。

付近の見所食べどころ

秋葉神社

森川金右衛門氏俊が建立したと伝えられる。



(3) 野本地区：寺院 No:⑨～⑯

野本地区のお寺をご紹介します。

お寺巡りをするには、市内循環バス野本コースを利用すると便利かつ安く（1回乗降 100 円）行くことが出来ます。東松山駅東口からバスに乗ると 10 分程で野本市民活動センター前に着きます。目の前に寺の名前を刻んだ大きな御影石が現れます。曹洞宗「清見寺（せいけんじ）」です。境内には、御揃いの赤い毛糸の帽子を被った可愛い六地藏菩薩が祀られており、参拝者を暖かく迎えてくれます。秩父連山・丹沢山系の山々を見渡すことが出来るなど、素晴らしい景色を堪能でき、参拝者からは、心が清められ、救われる感じがすると言われています。また、近くには北武蔵最大（全長 115m）の前方後円墳である「將軍塚古墳」が有りますので是非併せてご見学下さい。



更に県道 345 号下青鳥線を吉見町に向かって徒歩 15 分。田畑から一段高い所に建つ木製の立派な山門が見えてきます。浄土真宗大谷派の「了善寺」です。石段を上り山門をくぐると重厚な本堂が有ります。この建物は、京都の東本願寺と同様の作りです。中には、ご本尊と並んで少年期の聖徳太子の立像が祀られています。これは市内の寺では珍しく、数少ないものです。この他、本堂内には萩の松下村塾と同時期に開校していた「春桂書巢」の名の入った額が飾ってあります。その当時に使用していた木の机が今も保存されていることには驚きです。



さらに国道 254 号線を東松山駅行の路線バスに乗り、野本バス停で下車。食事処の真っ赤な看板の真向かいに広々とした空間と立派な本堂の建物が見えます。曹洞宗「萬松寺(ばんしょうじ)」です。

境内にある県指定の天然記念物、「椎の木」は樹齢 500 年以上とのことです。「椎の木」には注連縄が飾られ、また、松の木もよく手入れがされており大変厳かな気持ちになれる寺です。了善寺については次ページで更に詳細を紹介します。



寺院名：了善寺	宗派：浄土真宗大谷派
----------------	-------------------

了善寺は浄土真宗大谷派の寺院である。開基は渡辺守綱(徳川16神将の1人)が徳川家康の関東入国の際に、長年家康に仕え、緒戦に従軍した功により、野本藩を領知された。守綱は渡辺家の菩提寺として天正18年(1590年)に開基・開山とし、建立した古刹である。本堂は、京都の東本願寺と同様の作り方(鳥居のような柱がご本尊の前に有る)で関東近郊では比較的少ない様式である。本堂内には、更に聖徳太子の幼年期の立像が祀られている。

所在地	下野本1076
山号	高綱山 (たかつなさん)
本尊	阿弥陀如来
創建年	1590年 (天正18年)
開基	渡辺守綱
別称	
札所等	
文化財	

山門



本堂内



主な施設	
駐車場	有り
休憩所	有り
トイレ	有り
自販機	無し

見所

山口県萩市の松下村塾と同じ様な塾「春桂塾」が第十世嵩古香により開かれた。その当時使用した木の机と共に本堂には江戸の漢学者大沼沈山が筆を執った「春桂書巢」の扁額が今も壁上を飾っている。



本堂内の見所

本堂内には、聖徳太子の少年期の立像が飾られており、東松山市内の寺院では、比較的少ない。

(4) 高坂地区：寺院 No⑰～㉔

高坂駅西口方面のお寺巡りをご紹介します。高坂駅西口から鳩山ニュータウン行きのバスに乗り「埼玉県こども動物自然公園」のバス停で降ります。バス停角の裏道を少し歩いていくと、正法寺の参道入り口にある惣門橋にでます。参道は往時を偲ばせる家並みになっており各々の家には「屋号」が設置され、江戸時代から観音霊場参りをする善男善女の賑わいを彷彿とさせます。参道の家並みの先に仁王門があり、石段を登ると観音堂と大イチョウが迎えてくれます。

正法寺は坂東三十三札所十番で「巖殿観音」とも呼ばれ親しまれています。県指定文化財で鎌倉末期の銅鐘、六面幢など史跡も豊富で一見の価値があります。銅鐘（梵鐘）の外面には無数の傷がついており、これは天正18年（1590年）に豊臣秀吉による関東征伐の際に、山中を引き回した時の傷だと言われています。すぐ隣には4万本のつつじがある県指定の名称「物見山」があり頂上からの眺望も楽しめます。ここから高坂駅方向に向かいこども動物公園前の坂道を下り関越自動車道の橋の手前を左に曲がると境内がよく手入れされている常安寺がすぐ近くに 있습니다。通称、米山薬師、米山の寺などと呼ばれています。

ここから高坂駅への道は「高坂彫刻プロムナード」と呼ばれ日本を代表する彫刻家、高田博厚氏の32体の彫刻と作家の芸術観の銘板が作品に添えられています。この作品群に思いを馳せながら歩いてください。

次に高坂駅東口方面のお寺巡りは「東松山市ふるさと自然のみち（高坂七清水コース）」の地図をベースに紹介します。この地図は東松山市ウォーキングセンター、東松山駅、高坂駅で入手できます。地図に沿い東口から直進し「東光院下の清水」からせせらぎ緑道を気分爽快に歩いて、市指定の千手観音立像と二十八部衆像のある世明寿寺にでます。



境内には蓮の鉢がありますので開花の時期にはお勧めです。近くには市指定天然記念物の苔むした「観音下の清水」があります。ほっと一息ついた後地図の⑰⑱角を曲がり少し歩くと香林寺にでます。境内にはもみじの木、枝垂れ梅、香林寺心字坐板石塔婆があり、山門、本堂の銅板屋根がまだ新しい。地図に沿い「寺下の清水」の隣に蛇が巻き付いた俱利伽羅不動尊があります。すぐ脇の階段を登ると青蓮寺の山門です。境内には小代氏を伝える「弘安四年銘板石塔婆」があります。この後「大下の清水」から高坂駅に戻ります。

高坂駅西口方面では、見所の多い正法寺を一例として紹介します。

②5: 寺院名: 正法寺(しょうぼうじ)

宗派: 真言宗智山派

正法寺は真言宗智山派の寺院で、岩殿山修善院といい、また岩殿寺ともいう。源頼朝の命により、比企能員(ひきよしかず)が復興した古刹であり、天正二年(1574年)僧栄俊が中興開山となっている。天正十九年(1591年)徳川家康より寺領二五石の朱印地を与えられた。

所在地	岩殿1229
山号	巖殿山修善院
本尊	阿弥陀如来立像
創建年	718年(養老2年)
開基	沙門逸海(さもんいつかい)
別称	巖殿観音
札所等	坂東三十三箇所10番
文化財	銅鐘(県文化財) 鐘楼(市文化財)他
主な施設	
駐車場	有り
休憩所	有り(ベンチ、芝生)
トイレ	有り
自販機	有り

仁王門



観音堂



見所

市指定天然記念物: 大イチョウ
(樹齢700年以上と推定)



付近の見所食べどころ

近くの物見山には、約4万本のツツジが、春には桜とともに美しい花を楽しむことができます。



日の出屋 (正法寺と物見山の間にある食堂)



埼玉県こども動物自然公園



(5) 唐子地区：寺院 No:㉔～㉚

唐子地区のお寺をご紹介します。

お寺巡りをするには、市内循環バス唐子コースを利用すると便利かつ安く(1回乗降100円)行くことができます。東松山駅東口からバスに乗ると12分程で石橋集会所入口に着きます。田畑の中にこじんまりとした山門が見えてきます。天台宗「定宗寺(じょうそうじ)」です。境内には、東松山市内では珍しい法隆寺の夢殿と同じ八角堂の建物が燦然と建立されています。また、境内には草花が良く手入れされており、庭を見るだけでも心が落ち着いてきます。



更に唐子コースの路線バスに乗って4つ目の停留場浄空院入口で降車しますと、一際大きな草葺きの屋根(30メートル)の建物が見えてきます。曹洞宗「浄空禅院(じょうくうぜんいん)」です。この草葺きの本堂は300年前に建てられたもので、本堂の屋根の骨組みが長年の囲炉裏等の煙で黒光りしており、大変美しく重量感が感じられます。また、浄空禅院は境内の全ての建物が市の文化財に指定されています。



本堂は、100名の人々が一斉に座禅出来る広さで有り、別名「禅寺」と呼ばれています。また、近くには原爆の悲惨な情景を、絵画を通じて訴えたことで有名な丸木美術館が有り、一見の価値があります。

更に路線バスに20分位揺られて上神戸の停留場で降りて暫く歩きます。山門から本堂までトンネル状に続く桜並木の先に建っているのが、日蓮宗「妙昌寺(みょうしょうじ)」です。

境内の階段を登ると、市の文化財の祖師堂が有ります。その前には立派な石の鳥居が建っており、ここからの眺めは素晴らしく、十分に楽しむことができます。

また、「おおとりの杜」では、最近流行の「樹木葬」が行なわれております。更に浄空禅院については詳細を次ページに掲載します。



②8: 寺院名: 浄空禅院(じょうくうぜんいん)	宗派:	曹洞宗	
<p>浄空禅院は曹洞宗の禅寺で、太高山本通寺といい、また浄空禅院ともいう。菅沼越前守定吉の守護地だった越前の国の大本山永平寺により監院職の喚龍善応和尚を請して、天正16年(1588年)開山となった。その後菅沼七代和泉守定吉が京都奉行所在職中の功勳により、徳川幕府より永代寺禄として吉田村二十石の寄附が与えられた。また300年前に建てられた庫裡は、十二間に十七間の広大な草葺き屋根の建物で、郷愁にも似た落ち着きを感じさせる。</p>	所在地	上唐子679	
	山号	太高山(だいこうざん)	
	本尊	釈迦三尊(文殊菩薩・普賢菩薩)	
	創建年	永禄2年(1559年)	
	開基	菅沼越前守定吉	
	別称		
	札所等		
	文化財	浄空禅院全体(市文化財)	
	主な施設		
	駐車場	有り	
休憩所	有り		
トイレ	有り		
自販機	有り		

山門



本堂



見所

曹洞宗認可参禅道場

(百人分可能な禅堂有り)

付近の見どころ



丸木美術館は、1967年に開館。日本は世界で唯一原爆が使用された国です。丸木ご夫婦は原爆の悲惨な情景を絵画を通して、多くの人の記憶に残り、脅威を伝えるために建てられた美術館です。

有名な作品は、「原爆の図」「アウシュビッツ」

4. 国際・文化学部としてのグローバル展開について

(1) 寺院紹介の冊子作成

東松山市の寺院を幅広く紹介すべく2カ国の冊子を作成した。

- ・日本語版：表紙・目次を含め44頁
- ・英語版：表紙・目次を含め45頁

(2) 寺院紹介の冊子のプレゼンテーション

冊子は東松山市観光協会やスリーデーマーチを担当する市のスポーツ課等に利用を提案し、夫々を寄贈しました。

今後の活動としては国際交流協会や、東松山市ウォーキングセンター、あるいは図書館等にもプレゼを実施し幅広く提案したい。



5. まとめ

(1) 総括コメント

良かった点：今回の活動結果、断片的であった東松山の寺院についての情報がかなり纏まったと思います。結果として 33 寺院の日本語版の冊子が完成し、又グローバル展開を主旨とした英語版と韓国版も拙速ながら併せて完成することが出来ました。わずか 1 年の活動でしたが 16 名全員の熱意と努力の賜物と思います。

反省点：各コースの概略紹介では調査優先のため実際には歩けず、殆ど車移動が多かったのもう少し時間が欲しかった。又付近の見所、食べどころも全て巡っての詳細紹介や、食してのおすすめ料理提案までいたりませんでした。

全体としてはこのような活動をすることがメンバーのコミュニケーションのみならず地域の皆さんとの触れ合いが出来大変有意義だと思いました。ここに活動を通じたメンバー全員のコメントも掲載させていただきます。

(2) 各メンバーの一言コメント

今回の活動に対するメンバーのコメントを掲載します。

足立：歴史に疎い私にとって、伺った住職様のお話がこの町の歴史への興味の一步になりました。行動を共にした仲間の、人となりを知ることが出来、仲間意識が深まりました。

新井：休んだことも有った小生でしたが、皆さんの協力で何とかやってこられました。近くの寺院でも知らないことが多く為になりました。

飯島：時間との戦いの中で数回に渡り各寺院の住職様と接し貴重な話も聞いたことが有意義でした。真夏の暑さの中の頑張りだったので良い思い出となりました。

馬橋：生まれも育ちも東松山市であるが寺院の事にはあまり興味はなかったが、改めて調べると新しい発見がありとても有意義であった。

江口：普段は疎遠な寺院の調査でしたが、日本の文化の根底に触れる良い機会となりました。また英語訳に携われたことも有意義でした。

片岡：課題研究で東松山の寺院を調査してみると知らないことばかりでした。お寺の周辺にも見所がありますので是非お寺巡りをしてみてください。

木村：寺院紹介で共に学んだ勉強は、大変楽しく有意義でした。思い出に残ります。

黒羽：今回課題研究で、東松山の地域文化の再発見出来たことが大変うれしく思いました。

小島：東松山市に住みながら知らないことばかりで勉強になりました。いつも温かな雰囲気の中研修できましたことに感謝致します。ありがとうございました。

五島：初めて東松山の寺院巡りをしましたが、歴史のある寺院もたくさんあり、いにしえの人々の生活が垣間見られ意義深いものでした。

坂村：私の実家は真言宗でお坊さんのお経はおまじないみたいです。今回の課題研究で中学時代の記憶がよみがえりました。

萩野谷：課題研究の寺院紹介で初めて東松山市に 33 寺、有ることが分かった。
又、良い仲間にも恵まれ楽しい課題研究でした。

福浦：約 30 年間東松山に住んでいますが、課題研究を通じて沢山の寺が有ることに気づきました。楽しかったです。

松島：東松山市に引越して来て 38 年経ちますが、市内に歴史のある素晴らしい寺院が数多く有ることを初めて知りました。炎天下に汗を流しながら一緒に調査した素晴らしい仲間感謝しています。

宮崎：東松山に長年住んでいますが寺院については殆ど知らなかったのも興味を持って取り組みました。結果は私にとって大きな収穫になりました。

柳下：大変楽しく課題研究をすることが出来ました。素晴らしい仲間感謝です。

(3) 参考にした資料文献とお世話になった方々へのお礼

佛像 東松山市仏像調査報告 S60-3-31 発行 東松山市

石佛 東松山市石造記念物調査報告 S56-10-30 発行 東松山市

埼玉のお寺 財団法人埼玉仏教界監修 千秋社

東松山の今昔あれこれ 東松山市本町研究会 H.23-10-31

東松山市の寺院巡り 2013-7-25 日俣昭彦

この課題研究に対し各寺院の住職様、千代田恒之様（きらめき市民大学 OB）、東松山市観光協会、東松山市役所の広報広聴課、スポーツ課の皆様にはお世話になりました。感謝申し上げます。